

- ① 遷都の慶賀行事に参加するため、日没前に飛行機に搭乗した。
- ② 失恋を恨み、起きた惨劇は、虚栄心によるものだった。
- ③ 幽霊を浄化して、懲らしめる機械を零細企業が開発した。
- ④ 他人を媒体に自戒の念を持つことが肝心だとする考えに拍手が送られた。
- ⑤ 窯元での作業は窒素をいかに制御するかが大切だ。
- ⑥ 雑炊に絡めた裂けるチーズと豚肉を出す店に、鈴なりの客が入っている。
- ⑦ 裁判所に喚問されて弾劾された英雄は、悲しみの紛らわすために、力を封印した。
- ⑧ 地震の被害を受け、避難場所の支援に力を尽くしている人を書いた原稿を翻訳した。
- ⑨ 郊外に赴任することになり、怒り狂ったが、唯一の救いは幻に終わったことだ。
- ⑩ 奨学金をもらえたことで、勉強に励むことを満喫したので、好機を逸しなかった。
- ⑪ 逝去した恩師に、生前普遍的な教えで一喝された。

- ① 紫|色|の|蛍|光|灯|の|光|を|浴|び|た|数|匹|の|虫|が|霜|柱|の|上|を|歩|い|て|い|る。
- ② 津|波|の|た|め、|川|が|氾|濫|し、|船|舶|が|打|ち|上|げ|ら|れ|た|り、|魚|の|網|が|こ|わ|れ|た|り|し|た。
- ③ 疾|風|の|よ|う|な|俊|足|の|持|ち|主|は、|剣|の|使|い|手|を|兼|ね|て|い|た。
- ④ 是|非|、|肯|定|的|に|受|け|止|め|て|欲|し|い|と|不|祥|事|の|あ|っ|た|会|社|の|社|長|が|硬|い|表|情|で|語|っ|た。
- ⑤ そ|の|映|画|で、|怪|力|の|持|ち|主|が|嫌|疑|の|渦|に|い|た|と|い|う|脚|本|は|扱|わ|れ|な|か|っ|た。
- ⑥ 多|忙|の|中、|戦|禍|で|死|ん|だ|雌|の|ゾ|ウ|を|吊|っ|た。
- ⑦ 除|夜|の|鐘|が|鳴|る|中、|披|露|宴|で|大|胆|な|衣|装|を|着|た|画|伯|が|日|傘|を|さ|し|て|登|場|し|た。
- ⑧ 山|岳|地|帯|で|は、|雷|や|霧|が|多|く|て|遭|難|す|る|人|が|い|る。
- ⑨ 麗|しい|人|が|描|か|れ|て|い|る|肖|像|画|は、|妥|協|を|し|て|い|ない|秀|作|だ。
- ⑩ 太|郎|は、|勘|定|を|払|わ|ず|に|逃|走|し|た|が、|寂|しい|風|に|吹|か|れ|て、|突|然|、|慌|て|た。
- ⑪ 新|しい|秩|序|を|迅|速|に|つ|く|る|べ|き|だ|と|い|う|篤|学|の|志|は、|妄|言|と|し|て|片|付|け|ら|れ|た。

- ① 好|奇|心|から|お|盆|の|時|期|に|冷|房|を|使|わ|ず|に|幾|日|か|過|ご|し|て|み|た|。
- ② 偉|大|な|跳|馬|の|選|手|だ|っ|た|が|、|粗|い|演|技|で|惜|し|く|も|予|選|落|ち|し|て|し|ま|っ|た|。
- ③ 為|政|者|は|来|賓|の|た|め|に|、|権|威|あ|る|儀|式|を|と|り|お|こ|な|っ|た|。
- ④ 豪|快|な|政|治|家|は|、|考|え|の|軸|を|ま|げ|ず|に|、|自|分|の|主|張|を|貫|い|た|。
- ⑤ ダ|イ|ヤ|モ|ン|ド|の|塊|の|粒|子|を|磨|く|作|業|は|、|困|難|が|伴|う|。
- ⑥ 乾|燥|し|た|髪|の|毛|を|水|に|浸|す|と|、|な|ぜ|か|水|が|紺|色|に|な|っ|た|。
- ⑦ 料|理|の|本|に|唐|が|ら|し|の|漬|け|物|の|仕|方|に|つ|い|て|訂|正|が|挿|入|さ|れ|て|い|た|。
- ⑧ 鉛|筆|の|字|が|拙|い|の|は|、|肩|に|力|が|入|り|、|丁|寧|に|書|い|て|い|な|い|か|ら|だ|。
- ⑨ 水|槽|の|中|に|凹|凸|の|あ|る|巨|大|な|真|珠|が|あ|る|。
- ⑩ 同|僚|の|華|や|かな|活|躍|に|、|声|を|枯|ら|し|て|応|援|し|た|。
- ⑪ 噴|火|の|た|め|、|怖|く|て|眠|れ|ず|に|吐|息|を|つ|い|た|。

- ① 摩擦で、柳の木から煙が出た。
- ② 小さい選手が機敏な動きで腕力の強い巨大な選手を柔よく剛を制した。
- ③ 食卓に釣ってきた魚の揚げ物が出てきたが、尾が焦げていた。
- ④ 融通の利かない頑固者は顔を伏せて感情を抑えていた。
- ⑤ 王様の墳墓を砕くのは、一般的には時期尚早と考えられている。
- ⑥ 悲哀の感情が詰まった彼の踊りに、観客が一斉に拍手した。
- ⑦ 鯨の分泌物からつくったという偽りの芳香剤が出回っている。
- ⑧ 何の変哲もない肌着だが、特殊な縫合が施されている。
- ⑨ 冗談で、殿様の恰好をして舞台に出たら、観客に憤慨された。
- ⑩ 沼や湾に濁水が注ぎ込み、環境問題が暗礁に乗り上げた。
- ⑪ 伺うは聞くの謙譲語である。

- ① 地獄のような炭坑で飢えに苦しんでいる人の話は聞くに堪えない。
- ② 薪のために膨大の伐採された木が搬出されずに、投棄されている。
- ③ 解剖する前に合掌しないと不吉なことが起こるという天から啓示があった。
- ④ 小舟の上の扇の的を陸の陣地から矢で打ち抜いた時に詠まれた和歌がある。
- ⑤ 愚かな政治の弊害で、刑務所は既にいっぱいだ。
- ⑥ 陳列してあった弦楽器を執念で手に入れた。
- ⑦ 新しい託児所についての趣旨を叫びながら主張して、了承を得た。
- ⑧ 平凡な日々から抜け出すために、帆船をつくり、孤島をめざすことを誓った。
- ⑨ 明治時代から租税が貨幣でおさめられるようになり、農民の抵抗が頻繁に起こった。
- ⑩ 壇ノ浦の戦いでは、源氏の勝利を祈る雰囲気でも満ちていた。
- ⑪ 犠牲になった人を悼み、遺憾の意を表明する。

- ① 委嘱された仕事を阻止されたため、彼の表情には哀愁と悔恨の念がかんた。
- ② 金杯を鑄造する際に排出される渋い液体が問題となった。
- ③ 城郭の芝の上に、鳥が翼を広げて飛んでいて、情緒がある景色だ。
- ④ 騎士は、馬の手綱を引き、突如、退却を始めた。
- ⑤ 天井と暖炉の紋章は一致している。
- ⑥ 条約が締結された暁には俗事から解放され、悠然とした国になるだろう。
- ⑦ 栽培では土壌をいかに軟らかくするかが重要だ。
- ⑧ 江戸時代、藩の命令により、細菌を醸造していた診りよう所があった。
- ⑨ 娯楽と福祉の均衡を保つために交渉が続けられた。
- ⑩ 大国の脅いにより主権を侵害され、征服されたことにふん慨している国家は多い。
- ⑪ 派閥で作られた政権は、砂上の楼閣であり、夜露のように消えていく。

- ① 闘牛を擁ごする人もいれば、野卑で醜いものとする人もいる。
- ② 鈍い者は偏見に満ちており、賢い者はそれを憂いている。
- ③ 享樂をさげ、素朴で倫理觀の強い人が諮問委員會のメンバーにふさわしい。
- ④ 風薫る五月、この件について、謹んで快諾いたします。
- ⑤ この村の長寿の者は、若いときに鍛えていたので、衰えを知らない。
- ⑥ 狂乱する者が一方、傍觀する者もいた。
- ⑦ 官吏は一睡もできないまま料亭に到着した。
- ⑧ 祝宴で花婿と花嫁が生涯の愛をちかった。
- ⑨ その猫は寛大な便宜により拘束をまぬがれた。
- ⑩ 山賊に縛られ、殴られ、又は虐げられたが断固お金を出すことを拒否した。

- ① 茂っている草を刈り、工夫を凝らして敷き布団にした。
- ② 果敢に開拓した栄誉をたたえ、洞くつの前に記念碑が建てられた。
- ③ 湿って滑りやすいところに、化繊の布をしいた。
- ④ その陪審員は、将棋でもさすかのように、人の人生の岐路を簡単に決めた。
- ⑤ 岬の上の丘は、粘り強く作られた堤防に挟まれている。
- ⑥ 新郎は芋の酒で酔っ払い、裸で胴上げされていた。
- ⑦ 報酬を得るためには、怠ることなく充実した仕事をする事だ。
- ⑧ 漆器や陶器には、職人の恒久的な技術が含まれている。
- ⑨ 悪魔を欺く選択肢は残っていない。
- ⑩ 遂に寡黙な人の真髓が総括された。